

第37回 タオルを贈る運動



『いわて奥中山高原の低温殺菌牛乳』の生産者



私たちが飲む
牛乳づくりを応援!!



『酪農家の牛乳』の生産者

酪農家に タオルを届けよう



『こんせん72牛乳』の生産者



『酪農家の低脂肪牛乳』の生産者



タオル・メッセージの
回収期間

2023年1月9日(月)
~1月20日(金)まで

こんな「未使用タオル」をお願いします

タオルは通い箱に
入れてください

色 -color-

白がベスト

(牛の乳房などをふいているときに
出血などがわかるため)

色柄物でもOK

(作業用具などの清掃にも使うため)

大きさ -size-

**フェイスタオルが
ベスト**

バスタオル・
ボディタオルでもOK

未使用 -unused-

**のし紙や袋は
そのままOK**

(未使用だと
すぐにわかるため)

NG

ハンドタオル
(小さすぎるため)



NG

てぬぐい
(うすいため)



NG

使用済み

(洗濯済みでも
ご遠慮ください)



未使用タオルが
自宅にない方も

組合員の声から始まったカンパ方式

184594 1口 130円

注文用紙またはインターネット注文で
左の6ケタ番号と口数を記入すると、
口数に応じた枚数の新しいタオルを
パルシステムが代わりにお届けします。

受け付け期間

1月2回~3回
【1月9日(月)~20日(金)】

第37回 タオルを贈る運動

第1回から贈ったタオルは

のべ

259万枚

低めの温度で殺菌するパルシステムの牛乳は、組合員の「生乳の風味が生きた牛乳を飲みたい」という想いと、生産者の「より安全でおいしい牛乳を届けたい」という想いがつながって生まれました。この製法には菌数の少ない生乳が不可欠。清潔な環境を保つため、生産現場では毎日多くのタオルが使われます。そこで組合員の声から1985年にスタートしたのが「タオルを贈る運動」。昨年はタオル66,044枚とメッセージ3,849通を産地に贈りました。

生産者より

たくさんのタオル、
ありがとうございます

うちでは分娩のときにタオルを使っています。産まれたばかりの子牛は羊水などでべっとりしているのです、温かいお湯でぬらしたタオルできれいにしてあげるんです。あとは夫が毎日頭にまいているタオルも、贈ってもらったもの。今は飼料価格が高騰していて経営的には大変な状況なので、牛乳をたくさん飲んで応援してもらえると嬉しいです。

『こんせん72牛乳』の生産者
鈴木 真織さん(右)と
ご家族(北海道)



産地では

こんなふうに使っています //

※一例です



1. 乳房をふいて清潔にすることで生乳の菌数を抑えられます。2. タオルは洗って繰り返し使い、1カ月くらいで新しいものに交換します。3. お湯に浸したタオルで乳房をふきます。

あなたのタオルと
メッセージをお待ちしております

インターネットの
メッセージフォームからも送れます



1 メッセージを贈る 牛乳を○(マル)で囲んでください。

※複数の産地に贈る場合は、本チラシをコピーして使用するかインターネットで投稿してください。



2 メッセージ、所属センター名を記入し、 本用紙をタオルといっしょに 通い箱に入れて提出してください。

ご利用の生協名 パルシステム 【 】

センター名 【 】

生産者へ 【 】 枚のタオルを贈ります

3

生産者に届けますので、メッセージやイラストをどうぞ！
切り取らず、通い箱に戻してください。